

「最上のものは将来にある」

理事長 島 しづ子

「赤毛のアン」の作者はモンゴメリーです。モンゴメリーのお母さんは彼女が幼い頃に亡くなり、お父さんが再婚し、彼女は祖父母に育てられました。成人して郵便局で働くようになってから、祖母のお世話があって彼女は 37 歳で結婚しました。結婚した相手は牧師でした。家事だけではなく、教会の奉仕活動をしながら、子どもを育て執筆活動をしました。私が印象的なのは、牧師である夫ユーアンが心の病気であったので、彼女が「ユーアンを病院に入れた方がいいのではないかと思うことがあります、彼のためにはそうしない方がいいと思います。」と語っていることです。

結婚後も苦労が続く中で、「赤毛のアン」を送り出しました。彼女は祖父母に育てられたからこそ、赤毛のアンという、両親を知らない少女を描けたのかもしれませんが。その「赤毛のアン」を翻訳したのが村岡花子さんです。村岡花子さんのお孫さん・村岡恵理さんが「アンのかご」という本を著しました。そこに「赤毛のアン」の翻訳の過程が記されています。花子さんは貧しい家庭育ちですが、宣教師たちの手伝いをするということによって東洋英和女学院で学びました。学校の図書館（英語ばかり）の本を読み、いつか日本の子どもたちのために翻訳出版したいとの願いを持ちました。卒業後、母校の教師をし、キリスト教出版社に勤めていた時に、第二次大戦になりました。一緒に働いていたミス・ショーという人が戦争の為にカナダに帰る時に、村岡さんに、「赤毛のアン」の原書を渡して、「いつかあなたの手で日本の少女たちの為に出版してください」と語ったそうです。戦中ですから英語の本を持ち続けるのは危険なことです、村岡さんは翻訳を始めて、空襲にあったときは風呂敷に包んで逃げたそうです。

前後して村岡さん自身も結婚して子どもが与えられます。しかし疫痢のために5歳で亡くされました。「赤毛のアン」が出版されたのが、ミス・ショーから贈呈された13年後の1952年でした。苦労を経てモンゴメリーの多くの本が出版されていきました。村岡さんは「クリスマスキャロル」「フランダースの犬」等多くの英米の文学を私たちに届けてくれました。幸せな人たちが「赤毛のアン」を書き、「赤毛のアン」を翻訳した訳ではなく、プライベートな面では辛い思いを重ねた人たちがこういう本を送り出してくれました。

東洋英和女学院の校長・ブラック・モーアが卒業生に「最上のものは過去にあるのではなく、将来にあります。旅路の最後まで希望と理想を持ち続けて進んでいくものでありますように」と語ったという話にも惹かれます。「最上のものは将来にある」のだから人生の最後の最後まで、希望と理想を持ち続けて進んでいきなさいという言葉。現実には真つ暗闇だけど、この曲がり角の先には、きっと光り輝くものがある、という生き方。

若い時、「こんな苦しみは誰にも分からない、苦しんでいるのは私だけだ。」とっていました。でも年を重ねて、苦しんでいるのは自分だけじゃないんだという事を教えてもらうことができました。そして、苦しんだからこそ知った事柄や出会いがある事にも気がつきました。苦しみたくなかったというのが本音ですけど、「苦しまなければ分からなかったものがある」のも事実だと思います。

旧約聖書のほとんどはイスラエル民族という苦しんだ民が送り出した書物です。そして「赤毛のアン」を生み出したモンゴメリー、翻訳者村岡花子さん、一人一人の苦しみというのはその個人のものでありながら、他の人のためでもある、という例のような気がします。苦しんだからこそ「愛実の会」に連なっています。そこで知らされたことは、人生で大事なことは助け合うこと、よろこびを分かち合うことでした。愛実の会を通して、愛実の会を支えてくださる無私な方々に出会ったことも、なにものにも替えがたい賜物です。

2012年度第1回 定期総会報告

移転して3年目を迎え、NPO法人となって5年が経過しました。日常の生活介護事業・居宅介護事業共大きな事故もなく無事に過ごせたことは何よりも感謝です。

2012年5月26日(土)に開催された定期総会におきましては、2011年度の活動報告・決算報告があり、また2012年度の予算案・活動計画及びNPO法改正による定款の一部変更についての審議がなされ、議案通りすべて承認されました事を報告致します。2011年度は赤字決算になりました。その要因として収入減が挙げられますが、メンバーとアシスタントのマンツーマン体制を重視し、その理念を目指していることから、人件費率が70%を超え、手厚い介護体制が経営面で厳しい状況を作っていることも明らかであります。

今後も制度が改正されていく中で、経営面についての見通しを立てて行くことが大きな課題であると思っております。更にみなさんにも協力をしていただき、理事会・定例会共々より良いサービスの提供と安定した経営を目指して行くことが求められています。任期満了に伴い4月より新たな理事会構成となり、新理事会では定期的に会計状況を把握し予算統制及び経営の新たなビジョンを明確にできるよう努めて行きます。

また、2012年度は愛実の会の創立5周年のイベントを7月に迎えることから、今までの歴史を振り返りつつ、共に今後の展望を考える場となれば幸いです。

愛実の会 正会員数 49名 (2012年5月26日現在)

新理事7名 理事長：島 しづ子 副理事長：南 寿樹 生活介護管理者：竹内 秀剛
会計責任者：戸田 真二 利用者家族：山中 敦詞・有村 典子
相談役：島田 恵子 新監事：平良 一器

議案Ⅰ 2011年度活動報告

1. 活動報告

- ① 法人概況 ② 理事会 ③ 生活介護 (愛実友だちの家・大地の家・紙風船)
- ④ 居宅介護 ⑤ 各管理部門 (健康・給食・車両・防火防災・ホームページ・会報)

2. 2011年度決算及び監査報告

議案Ⅱ 2012年度活動計画

1. 活動計画

- ① 法人概況 ② 理事会 ③ 生活介護 (愛実友だちの家・大地の家・紙風船)
- ④ 居宅介護 ⑤ 各管理部門 (健康・給食・車両・防火防災・ホームページ・会報)

2. 2012年度予算案の件

3. 定款変更の件

特定非営利活動促進法 (NPO法) の改正に伴い、収支計算書→活動計算書に変更
それに伴い文言の変更 収支→削除 収入→収益 収入支出→収益費用とする。

2011年度 特定非営利活動に係わる事業会計 収支計算書

2011年4月1日～2012年3月31日

(単位 円)

特定非営利活動法人 愛実の会

科 目	当初予算額	決算額	備 考
I 経常収入の部			
1 会費収入	150,000	102,000	正会員50名
2 寄付金収入	4,700,000	4,799,966	
1) 寄付金収入	4,400,000	4,470,366	寄付金・賛助会費・土地建物・カンパ
2) 紙風船夢づくり収入	300,000	329,600	人形劇製作費
3 事業収入	116,010,000	111,620,730	
1) 生活介護収入	80,350,000	77,574,559	
2) 居宅・重訪収入	4,500,000	4,301,818	
3) 移動支援収入	150,000	139,800	
4) 他利用料収入	100,000	45,750	独自サービス
5) 処遇改善助成金	2,160,000	2,091,753	
6) 補助金収入	26,000,000	25,020,410	重心加算・送迎
7) 食事収入	2,750,000	2,446,640	利用者・職員給食代
4 営業外収入	1,000,000	1,141,052	
1) 就労支援事業収入	408,000	359,196	紙風船公演活動・軽作業収入等
2) 雑収入	592,000	781,856	自販機・駐車場利用料・受取利息等
経常収入合計	121,860,000	117,663,748	
II 経常支出の部			
1 直接処遇事業費	4,900,000	4,179,508	給食費・保健衛生費・教養娯楽費
2 人件費	84,800,000	84,755,888	
3 管理運営費	23,555,000	23,303,344	
1) 営業外費用	800,000	588,243	就労支援事業支出・会場費等
2) 減価償却費	6,800,000	6,354,299	建物・車両・人形劇製作等
5 予備費	1,005,000	0	
経常支出合計	121,860,000	119,181,282	
経常収支差額	0	▲ 1,517,534	

2012年度 寄付金のお願い ★2012年度 目標額 500万円

いつも愛実の会のことを覚え、ご支援を頂きまして心より感謝申し上げます。
 上記の通り2011年度の会計報告をさせていただきましたが、収支に出ない部分として
 して、移転時に建物の改装費用として銀行等の借入金残高4300万の内、690万円を返済
 しています。どうぞ、今後とも引き続きご支援をよろしくお願い申し上げます。

理事長 島 しづ子

愛実友だちの家のページ

(P5~6)

寒かった冬がようやく終わったと思ったら、あっという間に気温が上がってしまい暑いくらいの日が続きますね。暑がりさんが多い愛実友だちの家のメンバーには少々辛い季節ですが、体調を崩さないよう気を付けながら乗り越えていきたいと思います。

さて、4月からはメンバーとアシスタントの配置も少し変わって、新たな気分で新年度を迎えた愛実友だちの家です。今年度のテーマは「五感の刺激を通してメンバーとじっくり関わって、コミュニケーションを深めよう」。決まったアシスタントと少人数で過ごす体制を活かし、これまで以上にメンバーと過ごす時間を大切にしたいと考えています。そんなゆったりゆったりした日々の活動の様子を、いくつかご紹介したいと思います。

お花見に行きました

4月になってすぐのこと、春と言えばやっぱり桜！とのことでお花見に出かけました。花見を予定していた白鳥公園に向け車を走らせていると、空から雨粒がポツリ…。残念ながら車窓から雨と桜を眺めるドライブとなってしまいました。デイセンターに戻ったときには雨も止んでいて、タイミングの悪さにがっかり。このまま帰るのも惜しいので、急遽近所の木場中央公園へ行き、メンバーと一緒に桜の木を見上げました。まだ肌寒かったため、つぼみの花も多かったですが、春の訪れを感じて温かい気持ちになりました。

また、イエローレシートの際には、ちょっと寄り道して山崎川でリベンジお花見を敢行。こちらの桜はちょうど満開で、川沿いの見事な桜並木を歩きました。春めいた陽気の中をゆっくり散策出来て、いい気分転換になりました。

今年も園芸始めました

昨年はプランターでバジルやきゅうり、ミニトマトなどを育てて大豊作だったあみとも。その勢いに乗ろうと、今年も園芸に挑戦することになりました。まず最初に準備したのは、種から育てる「つるありいんげん」と「おもちゃかぼちゃ」。こちらの2つは成長してあみとも窓の「緑のカーテン」になってくれることを祈っての種まきです。

お次は苗から育てるきゅうりとミニトマト。昨年とは微妙に種類が違って、中には黄色いミニトマトになるものも。また、きゅうりの苗には「うどんこつよし」や「夏太郎」など、ひとつひとつに変わった名前が付いていて、メンバーと楽しみながらの植え付け作業となりました。

現在はほとんどがすくすく成長しているのですが、「おもちゃかぼちゃ」だけは未だ発芽せず…。どうなるのか心配ですが、成長を楽しみに待ちたいと思います。



季節の飾り作り

月毎の創作活動として、毎月1~2個その季節に合わせた作品を作り、あみとものデイ部屋や掲示板に飾っています。今回は5月に向けての飾りと言うことで、二種類のこいのぼりを作りました。

一つ目はカラーセロハンで作るこいのぼり。メンバーそれぞれがちぎった模様を描いたり、自分の得意な方法でうろこや目玉を作り、セロハンの土台にくっつけました。あみともの大きな窓に貼りつけると、まるで大空を悠々と泳いでいるかのようなこいのぼりが完成。部屋の中から眺めるだけでなく、散歩などの際に外側からも眺めてみたりと、いろんな視点で作品を楽しみました。



もう一つはトイレットペーパーの芯で作る卓上のこいのぼり飾り。いろいろな模様のハギレの中から、メンバーに好きなものを選んでもらい、芯に巻きつけて鯉を作りました。こいのぼりの家族を自分の家族に当てはめながら作ったり、模様よりも手触り重視でハギレを選んだり、同じ作品を作ってもメンバーの個性がにじみ出ていて面白いと感じました。



これからさらに暑くなり、外に出ることが難しい日も出てきてしまいますが、部屋の中にも季節感が感じられるような工夫を続けていきたいと思えます。



イエローレシートキャンペーン…参加店舗が変わりました

これまで、愛実友だちの家は長い間「イオンモール名古屋みなと店」さんにてイエローレシートキャンペーンに参加させていただいていましたが、今年度より「イオンモール新瑞橋店」さんにレシート回収箱を設置させていただくことになりました。新瑞橋イオンは数年前に出来たばかりということもあり、身障者用トイレがとても使いやすかったり、食事時に快くミキサー用の電源を提供してくださったりと、あみともメンバーが快適に過ごせる数少ない場所の一つです。



残念ながら、店頭でのレシート集めや呼び掛けは禁止とのことで、メンバーと一緒に食事や買い物をして、買ったレシートをボックスに入れることでキャンペーンの参加としています。みなさんも11日にお立ち寄りの際は、愛実友だちの家のボックスにレシートを入れてくださいね。ご協力よろしくお願い致します！



blog始めました

これまでも、日々の活動の様子等をtwitterにてお伝えしてきましたが、アカウント登録しておらず見られない、という声も頂いたため、FC2BLOGにお引越することになりました。会報では紹介しきれない活動の様子や写真もアップしていきますので、ぜひチェックしてみてくださいね☆



<http://amitomo07.blog.fc2.com/>

QRコード



大地の家のページ

(P7~8)

クラブ活動

5月から大地の家の新たな試み「クラブ活動」が始まりました♪ 身体を動かしたりゆったりとした時間を過ごしたり。メンバーそれぞれが自分の気に入ったクラブに所属し、少人数で活動しています。「音楽&運動」、「リラックス」、「園芸」、「芸術創作」・・・メンバーとアシスタントの個性&得意分野を活かして楽しい活動にしていきたいです (*^_^*)

音楽&運動

音楽&運動クラブでは、音楽を通して手や体を動かしていこう、というどちらかと言うとアクティブ系のクラブ活動です。メンバーも、身体を動かす事が大好きな方々が集まってくれました。もちろん音楽も大好き。そんな彼・彼女らの思いに応えられるように、楽しいクラブにしていきたいです☆

まずは、各々のメンバーに合った楽器を作ってみることに挑戦します！自分の作った楽器なら、愛着も倍増するのでは??という期待を込めています。

もちろん、身体を動かす事ばかりではなく、時にはヒーリング音楽タイムもありますよ(^^) 

園芸

昨年度はみんなで取り組んでいた園芸活動を、今年度は少人数で取り組むこととなりました。

昨年度はパプリカ、ナス、トマトなどを育ててピザ作りに挑戦しましたが、今年度は節電に貢献しようと「緑のカーテン」作りにチャレンジしたいと思います。

ありきたりな琉球ゴーヤと桔梗アサガオを育てますが、植物の生長を目で見て実感しやすいのではないかと考えています。

そして、土のう袋でのジャガイモ作りも行います。街中でのジャガイモ作りはどうなるかわかりませんが、収穫を楽しみにしたいと思います★ 

芸術創作

創作クラブでは、主にメンバーの五感を刺激出来るような作品を作っていきます。また、少人数制を活かし、自由な発想&奇抜な(笑)アイデアが出てくることも期待しています！のどかな雰囲気の中、和気あいあいと大地メンバーらしい作品を作っていきます♪ 

クラブの最初の目標は「創作クラブの看板作り」を予定しています。どんな看板になるのかは作ってからの楽しみ…(*^_^*)

しかし大地らしい個性的な作品になることは間違いない…かも!?これから

「見て楽しく、作って楽しく」をモットーに頑張ります！  よろしくお願ひします。

リラックス

私達リラックスクラブは時間を大切にゆったりと過ごしていこうと思います。12カ月の季節に合わせた手浴(血行促進だけでなく美容効果も絶大◎)をはじめ、マッサージ&エステやリラクゼーションにぴったりのBGMを流したり…。お肌ツヤツヤ、気持ちリフレッシュ！を目指して活動に励んでいます(*^_^*) このクラブのメンバー&アシスタントは個性派揃いです！「ゆっくり寝たいわ〜」という人が居れば「お肌が命」の美容派も…。一つ意見が出ると次々とやってみようという活動が挙がり、考えるうちにウキウキしてきます。これから本格的に始まりますが、楽しく活動が出来そうです♪ 

INAXへ行こう!



5月14日、大地の家では愛知県常滑市にある「INAX ライブミュージアム」へ行ってきました。

日本の大正時代に活躍した巨大な窯が特徴の建物です。ここINAXは時代によって変わってきた建築陶器、世界のタイル様式など文化や歴史を感じさせる資料館で、メンバーもアシスタントも少しだけ厳かな気分。

まず「資料館」に行けば、沢山のトイレが圧巻のお出迎え。日本を代表する和式便器が時代順に並んでいて、メンバーも思わずクスリと笑みを浮かべていました。変わり種の「お猿便器」は可愛いやら面白いやら・・・(*^_^*)

他にも「世界のタイル博物館」という建物にも入りました。そこにあるイスラム調のタイル張りドーム天井は日光の角度によってタイルの色が変化する不思議な空間です。当時では最先端のタイル技術を使った幾何学模様で、宮殿やお城などにも使用されていたそうです。その壁に装飾されているタイルも実際に触ることができました。つるつる、ぺたぺたした感触に「なんだこれ?」と不思議そうな顔をするメンバーも。お風呂に使われているような一般的なタイルから、芸術品と呼んでもおかしくないような繊細で美しい模様をしたものまで数多く展示されていました。

その後は昼食にアート体験と、メンバーもアシスタントも喧騒から離れ落ち着いた雰囲気でのINAXを存分に楽しむことができました。



本格イタリアン



昼食はミュージアム敷地内にあるイタリアンレストラン「ラ・フォルナーチェ」(「窯からできたもの」の意)にていただきました。メニューは本日のサラダ、白身魚のリゾット、食後にはドリンクと苺ムースのドルチェ・・・見た目も味も大満足のランチタイムを外の風景を眺めながら優雅に過ごしました。もちろん大地のメンバー&アシスタントはペロリと平らげましたよ!



モザイクアート作り



1cm×1cmの小さなモザイクタイルを木枠に並べてアート作品を作る体験をしました。どんな模様にするのか、どんな色にするのかメンバーが決め、アシスタントと協力して仕上げていきます。可愛いハート模様、クールに決めた幾何学模様・・・最後にドライヤーで乾かしタイルを磨くと、どれも世界に一つだけの素晴らしい作品が顔を出しました。完成するとメンバーもにっこり笑顔に! 壁掛け・鍋敷き・コースターなど、それぞれ家でどう使うのかを考えながら一生懸命気持ちを込めて作りました。



日々の活動の様子など随時更新中です♪
大地の家のブログ <http://ameblo.jp/daichi-no-ie/>



紙風船のページ

(P9~12)

2012年度のテーマが決まりました！

“一期一会” みんなの気持ちを一つに 笑顔と出会いを大切にしよう！

第一回交流会

紙風船では2012年度、年に4回の交流会を実施することになりました。今回はその第一回目！紙風船の新作が完成し一年がたったこともあり、改めて3つの作品を同時に披露することになりました。昨年度からアシスタントの入れ替わりがあったりと新しい配役での練習を日々繰り返し、そして一年前の発表会と同じ緊張感の中、公演が始まりました。新メンバー二人のあいさつで始まり、「ぼくたちにできること」「ポンタとたっくん」

「かめさんのありがとう」3作品を無事に

演じることができました。会場は満員！以前お世話になっていた懐かしいボランティアさんやメンバーの知り合いの方、紙風船とつながりのあるたくさんの方々に来てくださっていました。また、作品を通して私たちが伝えたい思いを感想の言葉

に込めて、みなさんたくさん書いてくださり本当に嬉しくなりました。一年かけて練習、公演を繰り返しやってきた成果でしょうか(*^_^*)



午後からは、紙風船のテーマや今後の目標などを紹介したり、テーマソング「風を下さい」を生演奏で歌ったり…。そして今回新たに発足した「紙風船応援クラブ」の宣伝もしました。応援クラブとは、紙風船の公演予定や行事予定、月刊新聞などをメールにて配信していきます。1人でも多くの方に登録していただき、そこからさらに紙風船の輪を広げていきたいという願いを込めています！興味のある方は紙風船までお問い合わせください☆2012年度も無事にスタートし、これからみんなで気持ちを一つに楽しい公演活動を送っていきたく思います。みなさん応援よろしくお願ひします☆

その他の活動

宣伝活動頑張っています☆
自分たちで説明するのはとっても
難しいです(汗)



紙風船の新しい看板が完成しました☆
お花紙を一つひとつ丸めて使ってみんなで
手作りしました！
とっても色鮮やかで素敵な作品です！

東京旅行

待ちに待った旅行の日がやってきました。
紙風船では4月25日～26日と東京旅行へ出かけてきました。今回のメインは東京ディズニーシー！事前にどのアトラクションに行こうか、何を食べようかなど楽しい計画を立て旅行当日を迎えました！

東京駅につき電車を乗り換えディズニーシーについた時にはみんなのテンションはマックスに！ただ最初にみんなで見ようとしていたショーの時間がぎりぎり、着いた喜びもつかの間、ショーの場所までダッシュです！何とか間に合い、幻想的な水の世界と迫力のある音楽＆パフォーマンスを体感することができました！

その後はグループに分かれ、乗り物に乗るメンバーもいれば、いろんな場所で繰り広げられるキャラクターたちのショーを回ったり、ショッピングをしたり、それぞれが限られた時間を自由に思う存分満喫しました。また期間限定で開催されていたスプリングショーや夜のショー、そして花火もみんなで見る事ができあつという間でしたが、とても楽しいディズニーシーを過ごすことができました。

2日目は東京散策！2つのグループに分かれて行動しました。一つは池袋散策、そしてもう一方はディズニーランドのすぐ近くにあるボンボヤージュでお買い物です！

グループの様子



ボンボヤージュでお買い物
たくさんできました！
そのあとは東京駅へ！
新しくなった東京駅は、
見るところ満載で、楽しく
ゆったりと過ごせました☆

池袋では「サンシャイン60」
で展望台に登ったり「ナムコ
なんじゃもんじゃタウン」で
餃子の食べくらべ！
アムラックス東京でトヨタの
車も体験したよ☆



なかなかみんなで旅行というのは簡単に計画できるものではありませんが、やっぱりみんなで一緒にお出かけするのは楽しいですね☆笑顔がたくさん溢れる旅行になって良かったです。

新メンバー・新アシスタントが仲間に加わりました

メンバー

とっても笑顔の素敵な二人です！
これからよろしくお願いします！



T. Sさん S. Tさん

アシスタント



石川さん(右)
片桐さん(左)
これからよろしく
お願いします☆

メンバーより一言

紙風船も新しいメンバー・アシスタントが4名入り公演も順調におこなっています。
今年度は、一年に36回公演を目標にがんばっていきます。
これから暑い日が続くと思いますが、がんばっていきましょう。

S. N

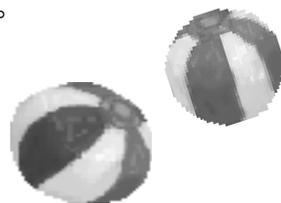
<メンバーの思い>

「ケアホーム叶う」

鈴木重利

二十歳を過ぎてから将来は親から離れてケアホームでの生活を希望してきました。新しいホーム作りを仲間と親達とで6年ぐらい頑張りました。1年くらい前にケアホームが旧愛光園跡地に立つことになりました。ラッキーな事に僕が入所できることになりました。

今年4月からケアホーム“おれんち”に3泊、家に帰って4泊の生活が始まりました。7人の個性的な仲間と一緒に食事をしたり、居間でTVを見たり楽しく過ごしています。ホームへ紙風船から迎えが来るので、人形劇も今までより頑張っ続けていきたいと思っています。これからも応援ヨロシク!!お願いします。



<協力者の思い>

「ありがとう 紙風船」

服部由岐

アシスタントとして紙風船の一員になって1年余りが過ぎました。私は紙風船のメンバーや他のアシスタントの皆さんのおかげで、随分成長することができました。紙風船には“今”を一生懸命生きている人たちがいました。

・・・今まで、思ったことを口にし、やりたい事をやる、それが当たり前になり、自分の思う様にいかない時には腹を立てたり、人を悪く思ったりもしていました。メンバー達に出会った時、頭をガツンと殴られたような気がし、自分が恥ずかしくなった事を今でも覚えています。私は何と過去にとらわれ、身動きがとれなくなっているのか、と。

紙風船のテーマソング「風をください」の一節にこのような歌詞があります。

～胸のうちをつたえるのは とても勇気がいるね
 だけど 言いたいことが言えないのは もっと苦しいから～

これからも、メンバーの「胸のうち」や「言いたいこと」をできるだけ汲み取って接し、メンバーが「今日も紙風船へ行こう!」とワクワクしながら通って来られる、明るく居心地の良い場所にする努力をしていきたいと思っています。

メンバーの皆さん、多くの人々に夢と勇気を届けられるように、共にがんばっていきましょうね!

【公演だより】

第138回 2012年5月12日（土） 紙風船交流会にて

「ぼくたちにできること」「ポンタとたっくん」「かめさんのありがとう」

紙風船交流会の午前の部として、新作3作品を上演しました。わたしたちの呼びかけにたくさんの方が集まってくださり感謝の気持ちでいっぱいです。

たくさん感想を
いただきましたので
紹介します☆

- * みなさんがイキイキと頑張ってる姿、本当にステキでした。
- * カメさん・・・“ありがとう”という言葉のあたたかさを改めて感じる事ができました。
- * ポンタ・・・音楽だけで表現するのはとても難しいことなのに、登場人物一人ひとりの表情や感情が伝わってきてすごいなと思いました。
- * ぼくたち・・・釣りのシーンが面白かった！環境について考えさせられる作品でした。

みなさんの声を励みにまた頑張っていきます☆ ありがとうございます！

第139回 2012年5月23日（水） 西区保育士連盟総会にて 西区役所講堂 18：40～

「ポンタとたっくん」「かめさんのありがとう」

紙風船主催の公演以外で、2作品同時の上演は初めてでした。そして、公演時間は夜。いつもとは違った雰囲気の中での公演となりました。当日は160名程の保育士の皆さんが観て下さいました。最初は緊張しましたが、お客さんの笑い声や拍手で、会場全体が少しずつリラックスしていったように感じました。2作品の上演を無事に終え、最後に紙風船のテーマソング「風を下さい」をギター演奏に合わせて歌いました。お客さんの中には涙を流しながら聴いて下さっている方もいて、私たちにも印象深い公演となりました。ありがとうございました。

今後の公演予定

- 7月12日（木） さくらん生活園（ボランティア公演） 「ぼくたちにできること」
 7月21日（土） NPO法人愛実の会5周年記念イベント 「かめさんのありがとう」
 8月 3日（金） ふれあい共同作業所 演目未定
 8月 7日（火） 訪問教育全国大会にて 「ぼくたちにできること」
 8月18日（土） 北なごやパペットフェスティバル「ポンタとたっくん」
 14：50～15：10
 北名古屋勤労文化会館小ホールにて
 （注：パペットフェスタのチケットが必要となります）
 8月21日（火） 中京病院 演目未定

詳しくはホームページをご覧ください😊



公演依頼募集中



紙風船では随時公演依頼を募集しています！
 小学校、幼稚園、保育園、病院、福祉施設などいけるところには喜んでいきます☆
 現在紙風船では、人形劇でたくさんの人を元気にしたい！という思いから、病院や福祉施設等でのボランティア公演も積極的に考えていきたいと思っています！
 ぜひ機会がありましたら、紙風船までお問い合わせください！

共に生きる

南 寿 樹

「海洋天堂」という香港の映画を観た。アクションスターのジェット・リーが主演とあったので、痛快なアクション映画かと思ったが、テーマは「親亡きあとの障害者問題」であった。——手首を90度に曲げてきれいな海の水面をひたひたとたたき、首を左右に振る明らかに自閉症の男の子（映画では21歳の設定）が初老の父親（ジェット・リー）と手漕ぎボートに乗っている。その二人の間には重さ30キロはありそうなオモリが二人の両足と縄で結ばれている。「そろそろ行こうか？」という父にオウム返しに「そろそろ行こうか？」と返す息子。そして「1, 2の3」で海に飛び込み、沈んでいく——冒頭はショッキングな親子心中の場面。しかし未遂に終わる。父親は水族館の整備技師であり、息子は館長の厚意によりいつもプールで泳がせてもらっている。そのため魚のように泳ぐことができ、縄をほどいてしまったからだ。

——自分（父親）は肝臓がんにより、余命1カ月…妻は男の子が7歳の時に他界した。自分が死んだあと、一人では生きていくことはできない息子。隣人に迷惑はかけられない。（どうすればいい？）児童施設は「年齢制限」で断られる。成人施設はまるで刑務所のように、おびえる息子の姿を見てあきらめる。必死になって電話帳に載っている施設に電話をかける父親…しかしすべて断られる。最後の最後で助けてくれたのは養護学校で世話になった女性の恩師。退職後、運動して成人用のケアホームを設立したところであった。「苦勞したわね」と優しく迎えてくれ、父親は初めて安心する。しかし入所した初めての夜にパニックになり呼び出されたり、就労（清掃業務）に向けての練習や通勤でのバス利用練習でつまずいたりトラブルは続く…でも確実に自立へ向かう。時間がない状況で、父親が最後に願ったのは息子の精神的自立だった。自分の代わりとして託したものは…

詳細は書ききれないので機会があったら観てほしい。自閉症を演じた主役の演技が素晴らしい。（一般の人はどう見るのだろうか）とても娯楽映画とはかけ離れている内容。先日観た「ものすごくうるさくてありえないほど近い」という自閉症の家族を題材にしたアメリカ映画も自分としては面白かったが、世間は自閉症自体が理解できず「わけのわからない最低の映画」との酷評もあった。

私はふたつの映画を観て、これまで出会った家族が次々と浮かんできた。「障害のある子を産んだ引け目」「障害のある子を育てる苦勞」「親亡きあとの心配」・・・世界どこでも共通だろう。私たちはどれだけ、そしてどこまで共感できるのだろうか…ふたつの映画では、どちらも関わる人すべてが善意で接していた。自閉症というコミュニケーション障害（うまく気持ちを表現できなかつたり、こだわりがあつたり）に対して戸惑いながら、わからないけれど共感しようとし、また家族の苦勞を自分のことのように思いやる姿が描かれている。そこには「共に生きる」というごく自然で寛容な温かな意識が流れている。「海洋天堂」では父親の亡きあと、仕事面で水族館の館長が、生活面で隣人と施設の職員が世話をし、自閉症の息子は穏やかに自分の人生を送ることができていた。

——親亡きあとの生活は、悲観することもない。共に生きていこうと助けてくれる人がきつといる

しかし今人気の橋下徹大阪市長（前府知事）が率いる「大阪維新の会」の維新八策（社会保障）のところには「お金のない負担能力のない弱者は切り捨てる（受益と負担の明確化）」が打ち出されている。弱肉強食の競争社会で、障害のある子を持つ親の苦しみはいつまで続くのだろうか・・・

この日本をはじめ世界中のみんなが「共に生きる」という意識を持つ世の中にしていきたい。

NPO愛実の会 寄付者名（順不同・敬称略）

2012年3月1日～2012年5月31日

★賛助会費

渡辺孝之 前田栄子 戸軽佳代 山崎京子 加藤亜佳子 安藤真知子

★紙風船

渡辺孝之 木村淑江 中森照子 中森由哉 伊藤あつ子 富田躍 奥田綾子
松村和枝 戸田真二 敦原陽子 大島英穂 人形劇団とんとん堀和代

★寄付・その他

稲田喜水 大淵哲也 伊藤幸雄 塚本千寿 大淵真喜子 リセス 森田いわ
高橋範子 石田典子 鈴木顕造 島しづ子 榎本久美江 木村純 藤原信子
中森照子 中森由哉 戸田真二 平良一器 刈谷教会CS
岡崎教会子どもの教会 メネット会 華陽教会婦人会
日本基督教団東海教会 愛知教会女性の会 名古屋桜山教会シャロンの会
福井神明教会 西尾教会婦人会 南山幼稚園&南山YMCA

★土地・建物

鈴木顕造

★物品寄付

丹羽道子 セカンドハーベスト名古屋

★ボランティア訪問

中山静雄（ジャズピアノ） 朝倉知里（ピアノ）

任意団体「障がい者・友だちの会・愛実」受付分（順不同・敬称略）

2012年3月1日～2012年5月31日

★寄付金個人・教会・学校

島しづ子 渡井秀雄 金城学院 三浦定代 松下智恵子 丹羽まゆみ
日本基督教団金城教会

★賛助会費

吉谷尚之（複数回）

ご協力ありがとうございました。

引き続きのご支援よろしくお願い致します。

寄付金・賛助会費等振込についての変更事項

現在、会報の夏号・冬号送付時に寄付金・賛助会費等振込のための用紙を同封させて頂いておりますが、今号より振込用紙の通信備考欄に寄付先の項目が記載されなくなりました。それに伴い「賛助会費」や「土地・建物」等の各項目も一元化し「寄付金」として取り扱うこととなりますので、ご了承下さい。

「紙風船夢作り」へのご寄付に関しましては、お手数ですが通信備考欄にその旨を記入して頂きますようお願い致します。（記載がない場合は、全て「寄付金」として取り扱います。）

今後とも愛実の会に皆様の引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

イエローレシートキャンペーンよりご寄付いただきました!

NPO法人愛実の会は、イオンで毎月11日に行われる「幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加し、イオンモール名古屋みなと店様・マックスバリュ千種若宮大通り店様・イオンモール大高店様に大地の家・愛実友だちの家・紙風船がそれぞれ登録させていただいています。(2012年度より愛実友だちの家はイオンモール新瑞橋店様にて登録させていただくことになりました)

このキャンペーンでは、お客様から集められたレシート合計金額の1%相当の商品を各団体に寄贈して頂けます。今回は様々な楽器や浄水器、CDプレーヤー、コーヒーマーカー、救急セット等活动を送る上で役立つ商品をたくさん頂くことができました。寄贈していただいた商品は大切に活用させていただきます。本当にありがとうございました。



新人アシスタントの紹介

2012年度より新しいアシスタントが加わりました。
皆さま今後ともよろしくお願いたします。



男性正規アシスタント : 佐藤直樹 石川裕右
女性パートアシスタント : 片桐真澄 (2012年2月末より勤務)

【所在地・連絡先】

特定非営利活動(NPO)法人 愛実の会

- 居宅介護事業所あみ(ホームヘルプ)
- 障がい者デイセンター愛実(生活介護)

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番24
TEL: 052-693-5897 FAX: 052-691-7889
E-mail info@aminokai.com
ホームページ http://www.aminokai.com

「NPO愛実の会」寄付金のお願

郵便振替 座番号 00850-6-187490
座名称 特定非営利活動法人 愛実の会 1□1,000円 何□でも結構です

- ◆ 寄付金(賛助会費・土地建物取得費用・その他NPO愛実の会の活動に関する費用)
- ◆ 紙風船夢づくり(人形制作費、公演活動に関する費用とする)

* なお「紙風船夢づくり」への寄付の場合は、通信備考欄へ紙風船夢づくりとご記入ください。記載がない場合は寄付金扱いとなります。

※ 年2回(夏号と冬号)に「振込料金加入者負担」の「払込用紙」を同封させていただいています。ご利用下さい。